

主題：—主イエスは悔い改めた者を喜んで受け入れられる—

2021/9/1(水曜日)

目標：—罪を赦す権威を持つ主イエスは、その感謝を現す者を喜ばれる—

キリスト伝

第二ガリラヤ伝道 ③

ルカの福音書 7:36～50

「多く赦された者」

新訳聖書に登場する女性たちが、主イエスに香油を注ぐという記事が何件か出ている。これはカペナウムでの出来事であり、ベタニヤのマリヤが香油を注いだ記事とは別である。

今回は、主イエスを食事に招いたパリサイ人シモンと、当時の習慣で横になり食事していた主イエスの足に、コッソリ入って来て、後ろから香油を塗った女性の2人の記事である。

主イエスは2人の心の思いの違いを重要視された。外側の姿だけを見て、人を見下げるパリサイ人シモンと、自分の罪を深く知り、心碎かれ、信仰により赦された感謝を献げている女性の違いを教えられたのである。主イエスは特に、この女性の信仰を喜ばれたのである。

同様にどの時代の者でも、主イエスを信じて赦された喜びと感謝を現すなら、主イエスは「あなたの罪は赦されています」(ルカ 7:48) と、信仰の確信を深める宣言して下さるのである。

「聖書の学び」

当時の家は、今の私たちの家より開放的であり、ゲストが来たときは野次馬が大勢集まっていた

I、パリサイ人シモンの家の食卓で

1、状況の確認：パリサイ人の招待(ルカ 7:44～45 p126)

①パリサイのシモンはどのような人でしたか。

- ・パリサイ人ではあるが、主イエスがどのような者かを自分で確かめたい人。

(ルカ 7:39)

- ・主イエスを軽視している…客人のためにすることをしない。挨拶の口づけもない。

(ルカ 7:44～45)

②主イエスの応答

- ・偏見で見ない。
- ・それぞれを個人的に接して下さる。
- ・誰の招待にも、応じてくださる。

2、状況の確認：主イエスの足に香油を注いだ女 (ルカ 7:37～38 p126)

①彼女はどのような人で、何をしましたか？

- ・町で評判の女 (不道德)

(ルカ 7:37)

- ・パリサイ人の家に勇気を振り絞って、ソッと入って来た。

- ・勝手に、主イエスの足を涙で濡らし、自分の髪の毛で拭い、足に口づけして香油を塗った。

②主イエスの応答

- ・気づきながら、自分を任せて、したいようにされてくださる。(ルカ 7:39)

Ⅱ、信仰から出る感謝と愛 (ルカ 7:47～48 p126)

1、この女性の行動について、考えられること

- ①どこかで主イエスの罪の赦しの福音を聞き、悔い改めの招きに応答し、救いに与った。
- ②自分の大きい罪が赦されたという信仰を持っている。
- ③その信仰から出た思い →→ 感謝 →→ 高価な香油を惜しげも無く注いだ。

当時の女性は結婚のために金を貯め、香油を買い、その時の資金としていた

2、主イエスが語られる、罪の赦しと愛の関係

- ① ルカ 7:47～48 の「罪は赦されています」という主イエスの2度の言葉

・ギリシャ語の過去完了の時制で要約すると…

「すでにすっかり赦されて完結している」という意味である。

※注意：彼女が多く愛したから、赦されたという意味ではない。

- ②ルカ 7:41～42 の譬え・・・同じ金貸しから、金を借りた2人

・500 デナリ借りた人は返せない→大変困った時←**帳消ししてくれた**→大恩を感じる

(約 500 万円) この大金の負債は大きな重圧→解放→喜び大→感謝大→愛を現す行動したい

・50 デナリ借りた人も返せない→少し困った時←**帳消ししてくれた**→当然嬉しい。

(約 50 万円) 自分で何とかできる。小さい重荷→解放→喜ぶが→・・・？まあまあ

3、主イエスの評価

- ①パリサイ人シモンは 50 デナリ借りた人と同じ。 (ルカ 7:45～46)

- ②主イエスは 500 デナリ借りた人と同じような彼女の信仰を褒められた。 (ルカ 7:48)

4、罪を赦す権威を持っておられる主イエス

- ◎罪を赦された女への宣言 (ルカ 7:50)

* **ディスカッション** (心を開いて互いに話し合ってみましょう)

Q. 今日学んだことについて、思うこと、教えられたことを、分かち合いましょう。